

高齢者虐待をみんなで防ぼう！

健康福祉課地域包括支援センター ☎ 25 1182

虐待はどうして起るの？

高齢者虐待が起る背景にはさまざま要因があります。特に介護負担は虐待と大きく結びついています。

「家族だからこそきちんとなければ」という責任感や介護疲れなどから虐待が始まってしまつケースも少なくありません。虐待の自覚がなく、介護の適切な方法や認知症への対応が分からないために自覚のない虐待が日常化してしまうこともあります。

虐待かも？と思ったら…

虐待は早い時期に第三者が介入するなどして、虐待の悪循環を止めることが大切です。

虐待をしている人、されている人の両方を虐待から守るために、「虐待かもかもしれない…」と思った時は地域包括支援センターに連絡してください。

なお、連絡していただいたかたの情報は外部に漏れることはありません。また、連絡が誤報であった場合も罪には問われません。

高齢者虐待には5つの種類があります。

- 暴力を加える（身体的虐待）**
 - ・平手打ちをする
 - ・無理やり食事を口に入れる
 - ・薬を過剰に服用させる など
 - ・つねる、殴る、蹴る
 - ・ベッドに縛りつける
- 金銭や財産を勝手に使う（経済的虐待）**
 - ・お金を渡さない、使わせない
 - ・本人の家などの財産を無断で売却する
 - ・年金や預金通帳などを管理し、本人の意思・利益に反して使う など
- 精神的な苦痛を与える（心理的虐待）**
 - ・排せつの失敗を嘲笑したり、人前で話して恥をかかせる
 - ・子ども扱いするなどして侮辱する
 - ・高齢者が話しかけているのを意図的に無視する など
- 世話をしない（介護や世話の放棄・放任）**
 - ・入浴をさせない
 - ・食事や水分を与えず、低栄養状態や脱水状態にある
 - ・室内のゴミや汚物の処理を、後回しにする
 - ・必要とする介護・医療サービスを使わせない など
- 性的な行為を強要する（性的虐待）**
 - ・排せつを失敗した罰として、下半身を裸にして放置する
 - ・キスをしたり、性器を触ったり、セックスを強要したりする など

地域で虐待を防ぐために…

高齢者虐待は誰もが直面する可能性のある問題です。だからこそ、みなさんが自分自身の問題として高齢者虐待が起らないよう、地域全体で支えあつていくことが大切です。高齢者や高齢者を介護する家族を孤立させないようにしましょう。

できごとから行動しましょう

- 1 日常的な声かけ**
日常的にあいさつを交わしましょう。日常生活での声かけが地域からの孤立を防ぎます。
- 2 見守り**
夜になつても部屋の明かりがつかない、最近姿を見ないなど、虐待につながる小さなサインは外からでも確認できます。
- 3 相談をすすめる**
介護に負担を感じている人がいたら苦労をねぎらい、地域包括支援センターなどへの相談をすすめてみましょう。
- 4 家族での話し合い**
介護保険などのサービスを上手に利用し、無理せず、介護を抱え込まない方法を家族で話し合ひましょう。



とばっ子ハッピーセミナー事業

親子 de シャボン玉で遊ぼう!!

健康福祉課子育て支援センター ☎ 25 7225

- とき** 7月30日(土)
午前10時～11時
(受付 午前9時50分～)
- ところ** 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール
- 対象** 小学低学年くらいまでのお子さんとその保護者
- 申込期限** 7月25日(月)

夢広場「鈴木和明氏」のシャボン玉パフォーマンス！
見て楽しむシャボン玉。
やって面白いシャボン玉だよ。大きなシャボン玉にも入ってみよう！
お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで遊べばもっと楽しい!!
ぜひ家族みんなで参加してください。



大きなドーナツ型の道具でビッグなシャボン玉を作り、その中に入ろう！写真も撮れるよ!!

